

秋の「ココブラ信州」始まる

安曇野・松本をめぐるコース用意



「創舎わちがい」で行ったツアー
(5月)

ある分野に精通した案内人(ガイド)と街歩きを楽しむ「ココブラ」ツアーが19日、スタートする。10月末までの

前半は、稲荷社やこま犬などを巡る8コースを用意している。

「安曇野に白い砂浜がある?花こう岩と扇状地の地形が生んだ有明砂と湧水の秘密に迫る」(安曇野市穂高)など4コースは初登場。

今夏、国の登録有形文化財に登録された旧松岡医院(松本市大手5)など、明治から昭和の松本の姿を今に伝える洋風建築を6カ所回る「松本ハイカラ建築巡り」、大田市街地にある築130年の町家を生かした食事処

「創舎わちがい」のおかみが案内する「大町は戦国時代から食材交易の場だった」(食事付き)などもある。

ココブラ実行委員会の高松伸幸代表(53、穂高有明)は「コロナ禍だが、たまには外を歩きましょう。街をみんなど楽しんで機会を捉供できたら」と話す。

歩行距離は約1〜3km。参加費は2000円。4160円。詳細、申し込みはホームページ「ココブラ信州」から。実行委の松本さん ☎090・9141・3516